

# 東日本大震災を経験した 地元のガイドが 自身の体験談をお伝えします

語り部プログラムでガイドとなるのは、**震災前から南三陸町に住み、震災後も町の復興を見守り続けてきた住民です。**

**自身の体験談、そしてこの震災から得た教訓を伝えていきます。**地域の復興を見守ってきた住民だからこそ、リアルな体験をお伝えすることができます。

また、震災当時中学生や高校生だった若い世代のガイドも活躍中です。混乱するコミュニティの渦中、彼らは何を感じ、どのような役割を担っていたのか。同年代の目線で、現代の中学生や高校生に東日本大震災を語り継ぎます。

## ガイド紹介



芳賀タエ子 Taeko Haga

着物着付け教室講師  
震災前、南三陸町婦人防火クラブ副会長  
南三陸町漁協 30 年勤務



鴻巣修治 Shuji Kounosu

ガイドサークル汐風代表  
南三陸町観光協会理事  
元南三陸町認定ガイド



佐藤正文 Masafumi Sato

気仙沼市の勤務先で被災  
南三陸町の自宅は全壊  
4 歳でチリ地震津波を経験



菅原文雄 Fumio Sugawara

元消防職員  
震災当時は支援活動を実施



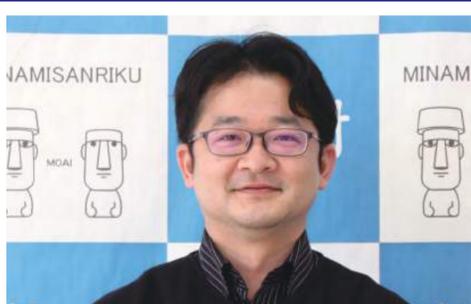
高橋長泰 Nagayasu Takahashi

震災前、町内地区の公民館長  
震災時志津川小学校避難所自治会長  
として活動。現、味噌醤油販売業



鈴木清美 Kiyomi Suzuki

震災後、宮城大学南三陸復興ステーションにて活動。現、南三陸町保健福祉総合審議委員



後藤伸太郎 Shintaro Goto

震災直前に南三陸へ戻り建設会社へ就職。復興事業、避難所運営に携わる。現、町議会議員

## 若手ガイドも活躍中



阿部悠斗 Yuto Abe

中学 2 年生時被災。自身が通っていた中学校が避難所となる。現在、南三陸町観光協会にて町内外のイベントや物産を担当



佐藤慶治 Keiji Sato

高校 2 年生時被災。大学時代地域スポーツ研究のためフィンランドへ一年間留学。現在はその経験を生かし町内外で活躍中